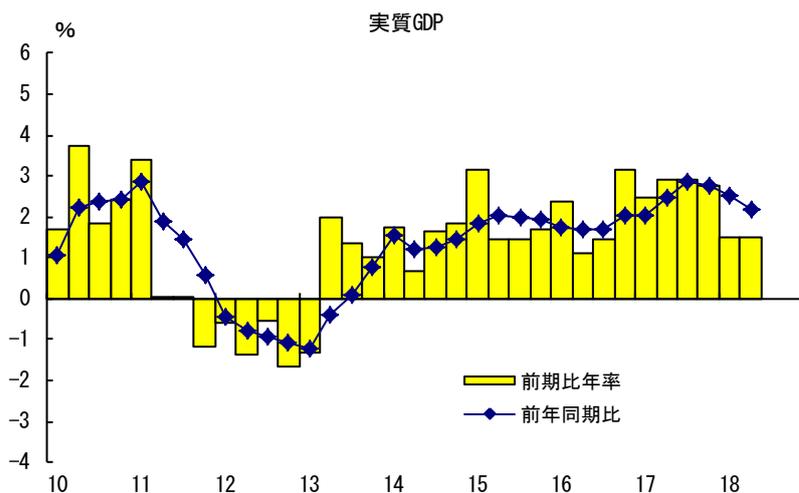


ユーロ圏 GDP

- 18年Q2の実質GDP成長率（速報値）は前期比+0.4%とQ1と同水準の伸びを記録。21四半期連続のプラス成長となるも、17年Q1～Q4の平均成長率+0.7%には及ばず
- 前年比では+2.2%とQ1の同+2.5%から減速し、17年Q3を直近のピークとした緩やかな減速傾向が続く
- 18年Q2の需要項目別の詳細は、9月7日に発表予定



名目GDPに占める割合（%）

	2017
民間消費	54.2
政府消費	20.4
総固定資本形成	20.5
設備投資	9.7
住宅投資	5.2
その他建設投資	4.8
輸出	47.3
輸入	42.7

ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質GDP	0.8	0.4	0.4	0.4	0.6	0.3	0.4	0.8	0.6	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4
個人消費	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	0.3	0.4	0.6	0.4	0.5	0.4	0.2	0.5	-
政府消費	0.5	0.3	0.4	0.4	0.8	0.3	0.2	0.3	0.1	0.5	0.5	0.3	0.1	-
総固定資本形成	0.0	7.4	-4.3	2.7	0.5	1.1	0.9	1.2	-0.5	2.0	-0.1	1.4	0.3	-
設備投資	-0.4	14.9	-8.0	3.9	0.1	2.0	1.2	1.6	-2.8	3.2	-0.6	1.9	-0.5	-
住宅投資	-0.5	0.5	0.3	1.4	1.7	0.8	0.9	1.0	1.7	1.1	0.7	0.9	1.5	-
その他建設投資	1.3	-0.8	-0.2	1.5	0.1	-0.7	0.2	0.5	2.6	0.3	0.0	0.9	1.1	-
輸出	3.2	0.7	0.2	0.9	0.5	1.2	0.3	1.5	1.6	1.1	1.5	2.4	-0.9	-
輸入	3.1	3.5	-1.4	2.0	0.7	1.3	0.7	1.5	0.6	1.5	0.5	1.4	-0.3	-

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

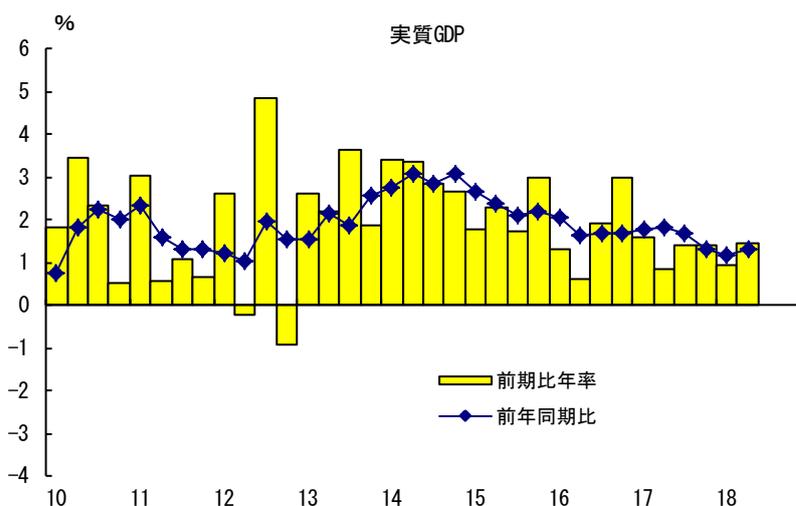
	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質GDP	0.8	0.4	0.4	0.4	0.6	0.3	0.4	0.8	0.6	0.7	0.7	0.7	0.4	0.37
個人消費	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3	-
政府消費	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	-
総固定資本形成	0.0	1.5	-0.9	0.5	0.1	0.2	0.2	0.3	-0.1	0.4	-0.0	0.3	0.1	-
設備投資	-0.0	1.5	-0.9	0.4	0.0	0.2	0.1	0.2	-0.3	0.3	-0.1	0.2	-0.1	-
住宅投資	-0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	-
その他建設投資	0.1	-0.0	-0.0	0.1	0.0	-0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	-
在庫変動	0.3	-0.2	0.2	-0.0	0.0	-0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	-0.0	-0.3	0.3	-
輸出	1.4	0.3	0.1	0.4	0.2	0.6	0.2	0.7	0.8	0.5	0.7	1.1	-0.4	-
輸入	-1.3	-1.5	0.6	-0.9	-0.3	-0.6	-0.3	-0.7	-0.3	-0.7	-0.2	-0.6	0.1	-
純輸出	0.2	-1.2	0.7	-0.4	-0.0	0.0	-0.1	0.1	0.5	-0.1	0.5	0.5	-0.3	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 18年Q2の実質GDP成長率（速報値）は前期比+0.4%、前年比+1.3%と加速し、どちらも17年Q4の水準まで回復
- 需要項目別で見ると、個人消費は前期比+0.3%に加速。総固定資本形成は、政府部門の回復が著しく、同+0.8%とプラスに転換
- 一方、輸出は前期比-3.6%と12年Q2以来の大幅なマイナス幅を記録。純輸出は大幅なマイナス寄与となった



名目GDPに占める割合（%）

	2017
民間消費	65.8
政府消費	18.3
総固定資本形成	17.2
政府部門	2.7
企業部門	9.6
民間住宅投資	3.6
輸出	30.2
輸入	31.5

英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質GDP	0.4	0.6	0.4	0.7	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.2	0.4	0.4	0.2	0.4
個人消費	0.6	0.8	1.2	0.1	1.1	0.8	1.1	0.0	0.6	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3
政府消費	0.5	0.9	0.6	-0.2	0.4	-0.1	0.0	0.0	-0.5	0.5	-0.1	0.4	0.4	0.4
総固定資本形成	1.7	1.2	-2.1	1.8	-0.0	1.6	1.5	-0.6	1.1	1.6	0.4	0.8	-1.3	0.8
政府部門	1.6	-0.9	-5.5	-1.4	-1.2	8.4	2.5	-4.6	-1.1	4.9	-1.1	1.1	-6.2	6.8
企業部門	3.3	-0.1	-2.5	2.3	-1.7	0.9	1.5	-1.0	-0.2	1.7	0.6	0.2	-0.4	0.5
民間住宅投資	0.5	7.6	-1.2	3.0	3.2	1.1	1.9	1.6	4.9	0.1	1.5	4.7	1.5	1.1
輸出	1.2	0.8	-1.0	2.0	-0.9	0.9	-3.2	6.6	0.8	0.6	0.8	1.0	0.0	-3.6
輸入	2.2	-2.1	0.3	2.7	-0.4	0.6	3.1	0.2	0.9	0.4	0.5	-0.2	-0.2	-0.8

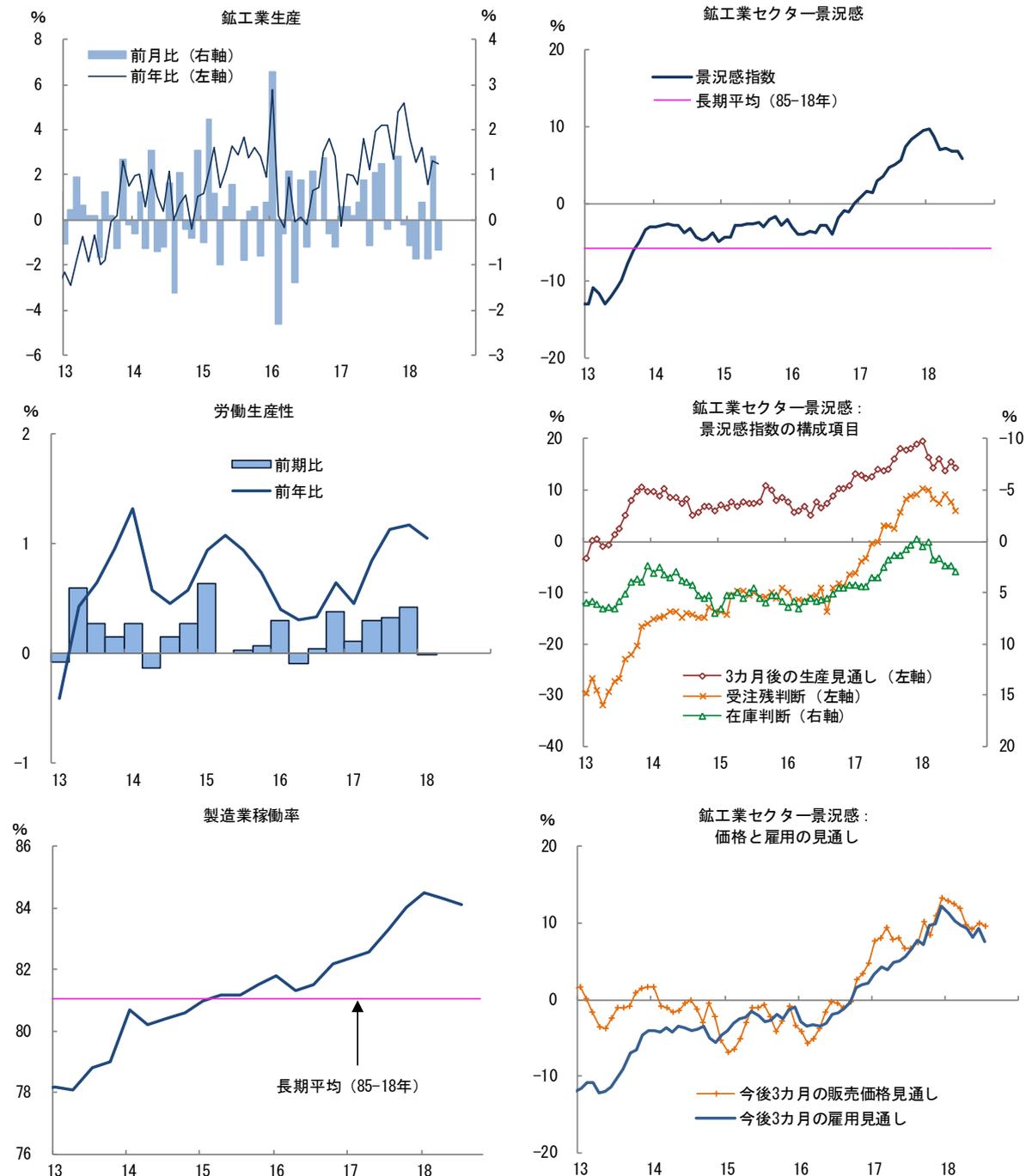
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2
実質GDP	0.4	0.6	0.4	0.7	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.2	0.4	0.4	0.2	0.4
個人消費	0.4	0.5	0.8	0.0	0.7	0.5	0.7	0.0	0.4	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2
政府消費	0.1	0.2	0.1	-0.0	0.1	-0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1	-0.0	0.1	0.1	0.1
総固定資本形成	0.3	0.2	-0.4	0.3	-0.0	0.3	0.2	-0.1	0.2	0.3	0.1	0.1	-0.2	0.1
政府部門	0.0	-0.0	-0.2	-0.0	-0.0	0.2	0.1	-0.1	-0.0	0.1	-0.0	0.0	-0.2	0.2
企業部門	0.3	-0.0	-0.2	0.2	-0.2	0.1	0.1	-0.1	-0.0	0.2	0.1	0.0	-0.0	0.0
民間住宅投資	0.0	0.2	-0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0
在庫変動	-0.2	-0.2	0.1	-0.5	0.2	-0.6	1.0	-0.1	-0.4	-0.3	0.1	-0.4	0.2	0.7
輸出	0.3	0.2	-0.3	0.6	-0.3	0.3	-0.9	1.8	0.2	0.2	0.2	0.3	0.0	-1.1
輸入	-0.6	0.6	-0.1	-0.8	0.1	-0.2	-0.9	-0.0	-0.3	-0.1	-0.2	0.1	0.0	0.2
純輸出	-0.3	0.9	-0.4	-0.2	-0.1	0.1	-1.8	1.8	-0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	-0.8

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 6月の鉱工業生産は前月比-0.7%とマイナスに転換。Q2では、エネルギー生産の大幅減により、前期比-0.2%と2四半期連続のマイナスを記録した
- 7月の製造業稼働率は84.1%。直近のピークである1月から緩やかな低下が続く
- 7月の鉱工業セクター景況感指数は悪化傾向が続く。すべての構成項目（生産見通し、受注残判断、在庫判断）で悪化が続いている

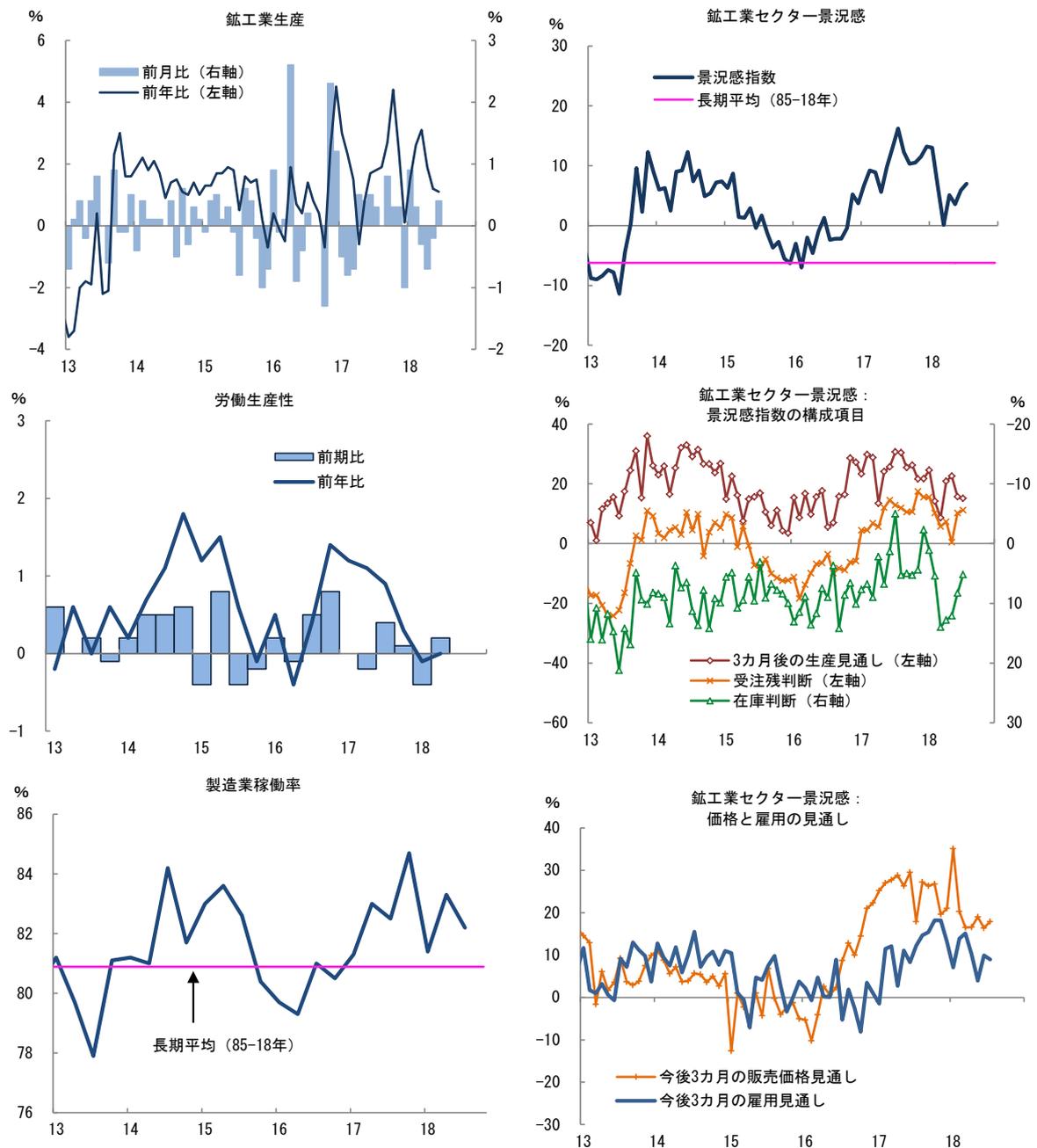


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 6月の鉱工業生産は3カ月連続の前月比マイナスから同+0.4%と反発した
- 7月の鉱工業セクター景況感は改善傾向が続いている。構成項目のうち、在庫判断は4カ月連続の改善、受注残判断も改善が続く
- 7月の製造業稼働率は、4月の83.3%から82.2%に低下した

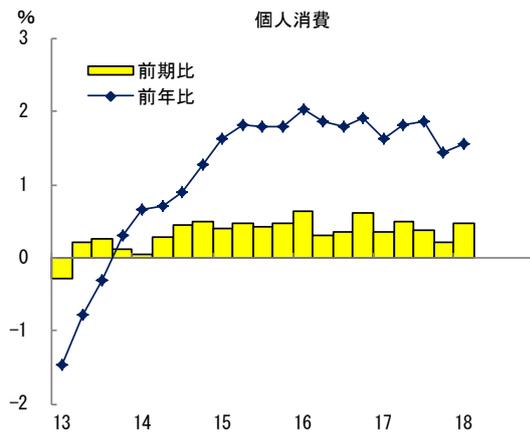


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 6月の小売売上高は前年比+1.2%に減速。ただし、Q2は前期比+0.6%とQ1の同横ばいから持ち直している
- Q2の加速は、非食品売上が前期比プラスに転換したことが主要因
- 7月の消費者マインドは6月から横ばい。構成項目のうち、景気見通しは悪化傾向が続く

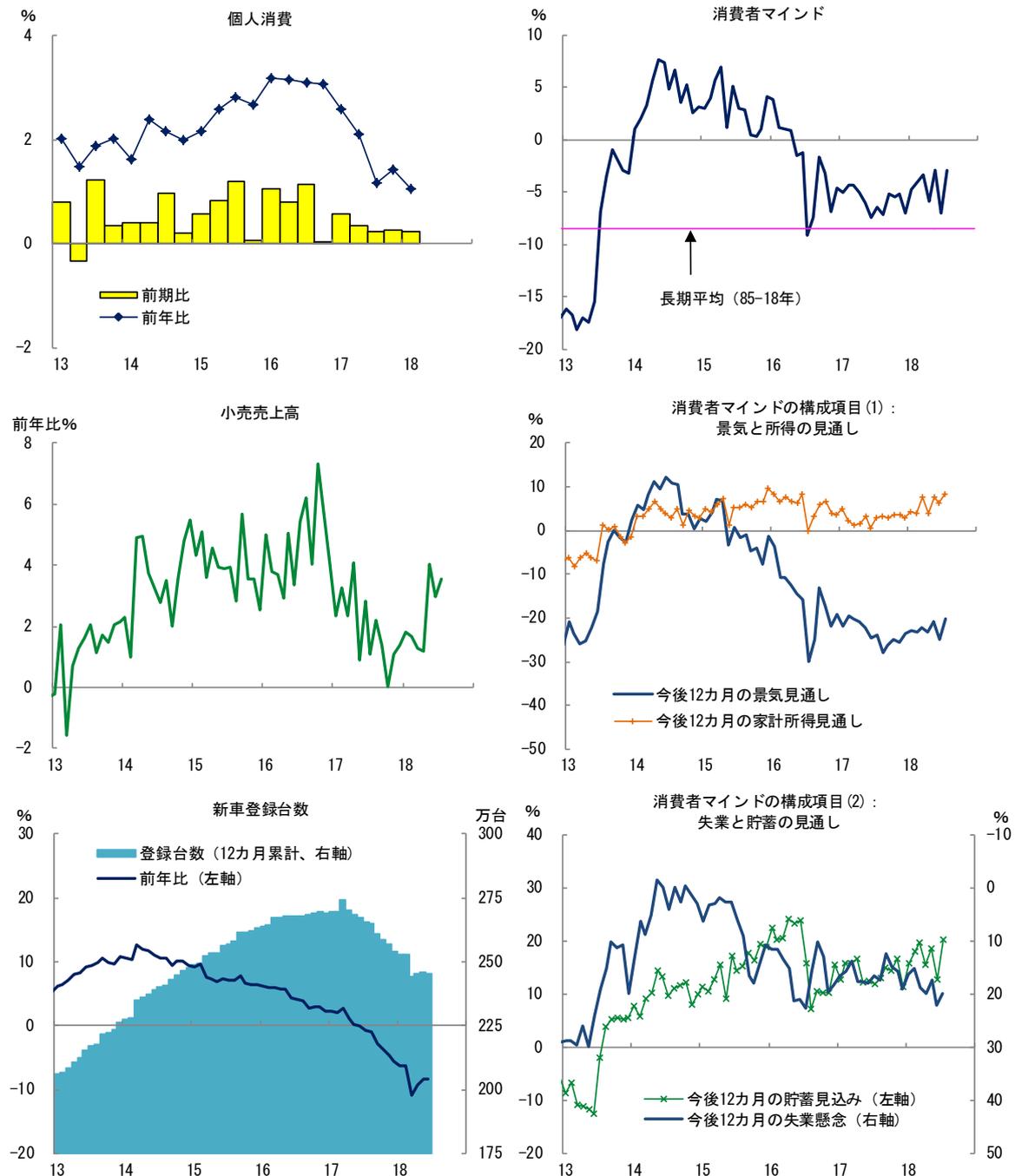


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 7月の小売売上高は前年比+3.5%に加速。直近3カ月（5-7月）は前3カ月と比べて力強い伸びを記録した
- 年初の寒波による消費停滞の反動増に加え、5月のロイヤルウェディングや6-7月のワールドカップによる特需が主要因
- 7月の消費者マインドは前月比で改善。すべての構成項目が改善した

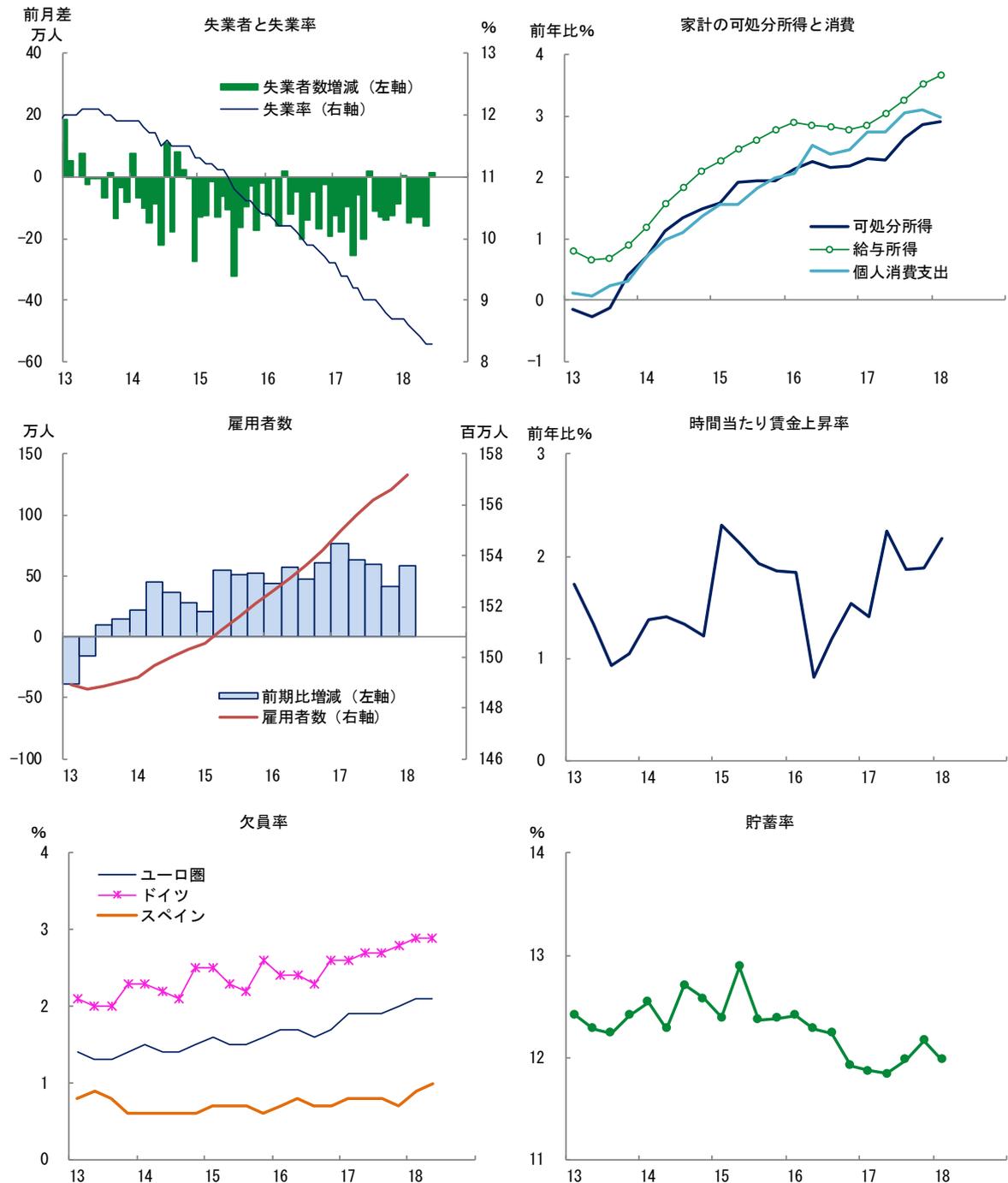


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 6月の失業率は08年12月以来の低水準となった5月と同じ8.3%。25歳未満の失業率は、16.9%と08年9月の水準まで改善
- 6月の失業者数はわずかながら前月比で増加。25歳以上の失業者が増加したことが原因
- Q2の欠員率は、ユーロ圏とドイツではQ1から変わらず。一方、スペインは1.0%に上昇した

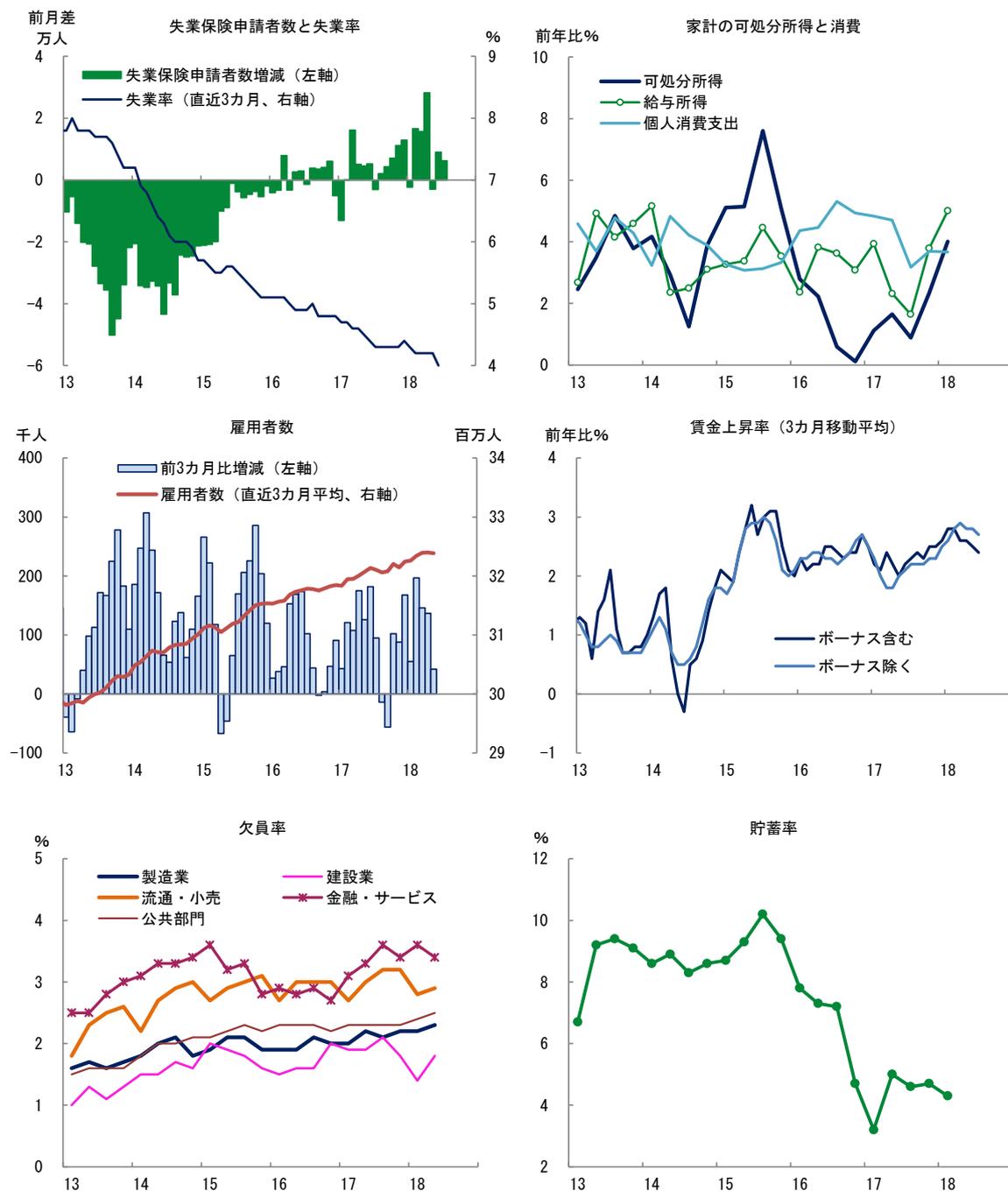


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 4-6月平均の失業率は4.0%と3-5月平均の4.2%から更に低下。失業者数の減少に加えて、労働力人口の減少も失業率の低下に貢献した
- 4-6月平均の雇用者数は3,239万人で、統計開始以来の高水準を維持。なお、Q2の欠員率は、金融・サービス業を除くすべての業種で上昇を記録した
- 4-6月の賃金上昇率（ボーナス含む）は前年比+2.4%、ボーナスを除いたベースでも同+2.7%に減速。製造業、建設業、サービス業すべての業種で、賃金上昇率が減速を記録した

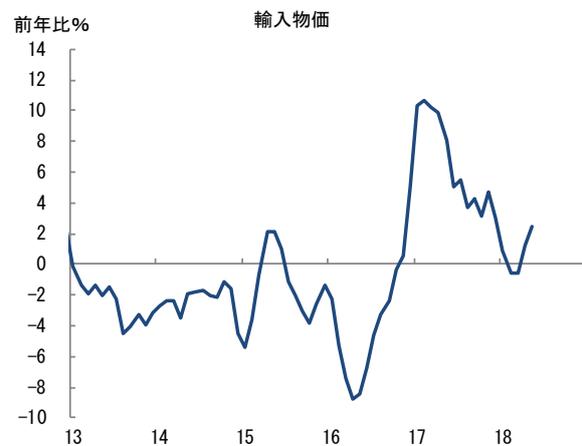
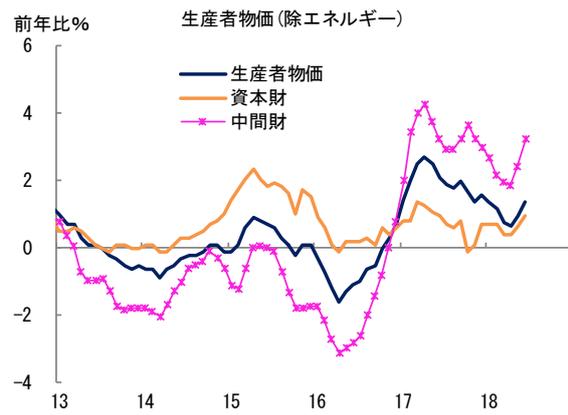


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

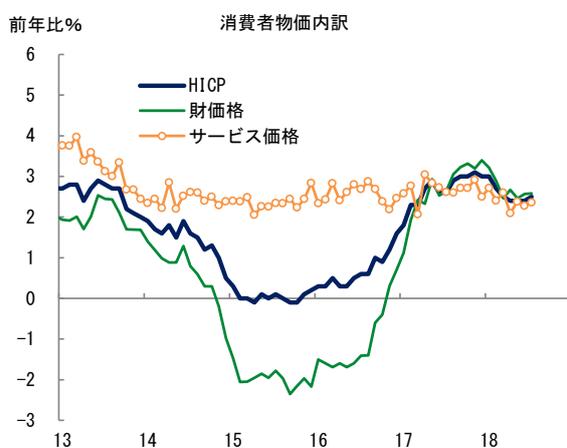
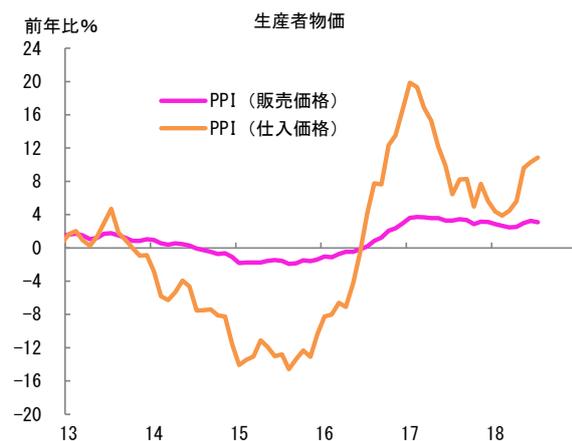
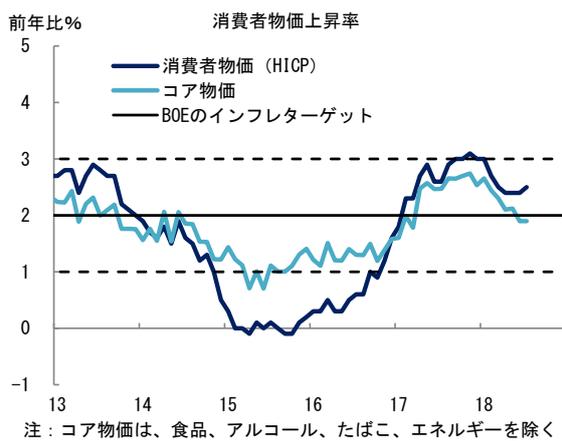
- 7月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.1%に加速。主にエネルギー価格が高騰したため。コア物価上昇率は同+1.1%に留まっている
- 6月の生産者物価上昇率は前年比+1.4%と2カ月連続の加速。石油・石油精製品価格の急騰が続き、鉱業・採石価格は同+10.3%と11年12月の水準まで大幅に加速した
- 5月の輸入物価は前年比+2.5%に加速。鉱物燃料等の価格高騰が主要因



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

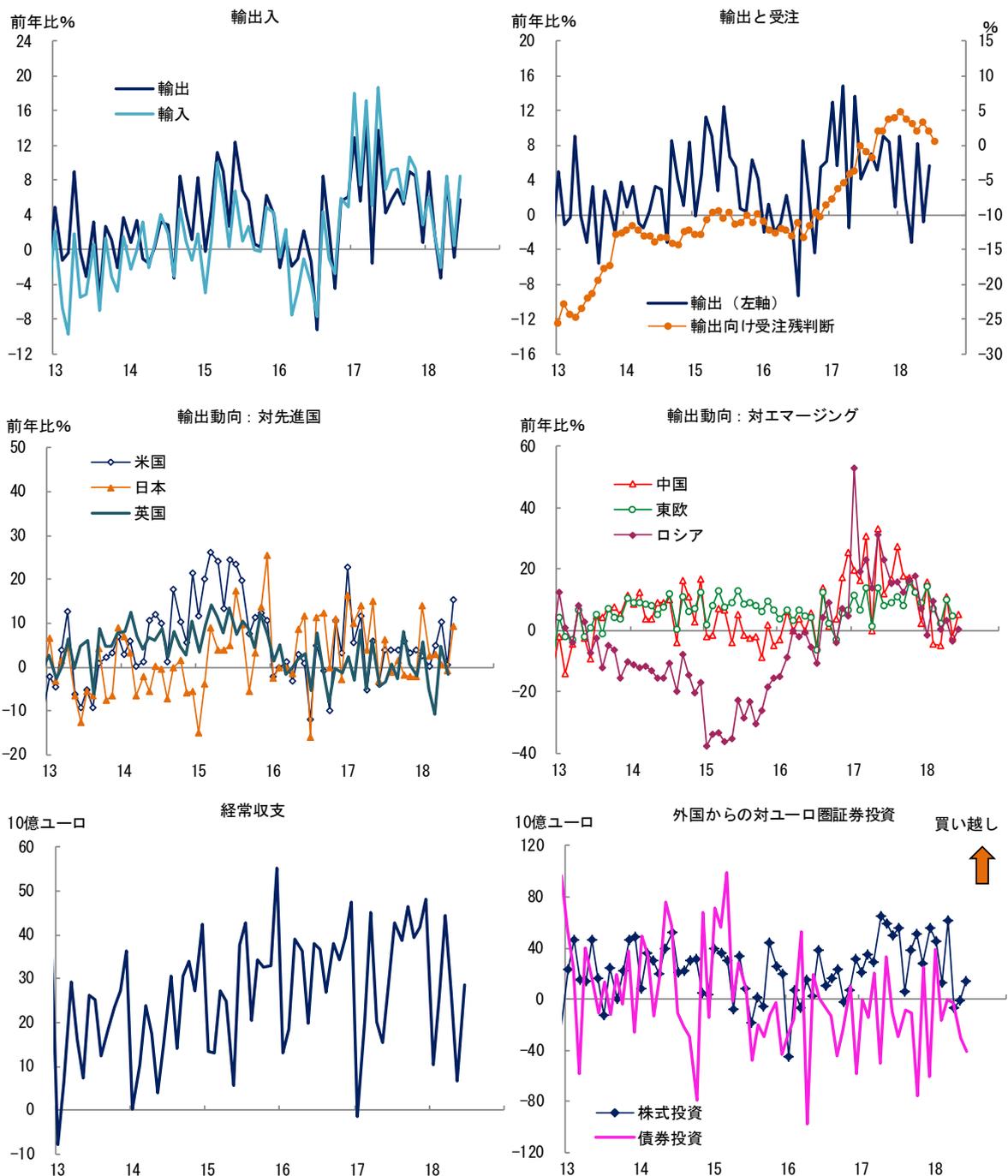
- 7月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.5%に加速。輸送価格が3カ月連続で加速、娯楽価格は加速に転じた。コア物価上昇率は、同+1.9%と6月から変化なし
- 7月の生産者物価のうち、仕入価格は前年比+10.9%に加速した。原油等の価格高騰が主要因。一方、販売価格は、6月の同+3.3%から同+3.1%にわずかに減速した
- 6月の輸入財デフレーターは前年比+2.4%と5月の同+4.0%から減速。石油などの燃料価格は大きく加速したが、化学製品、材料、乗用車の価格がそろって前年割れを記録



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

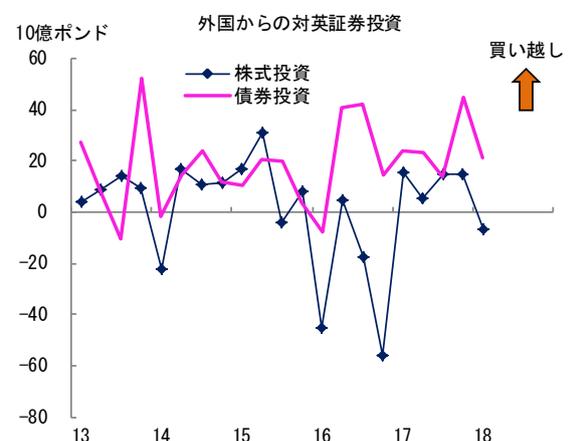
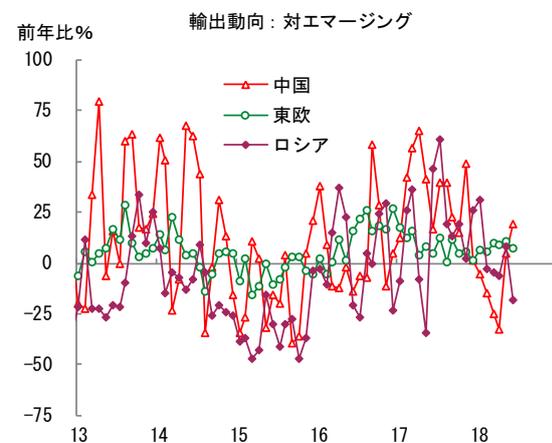
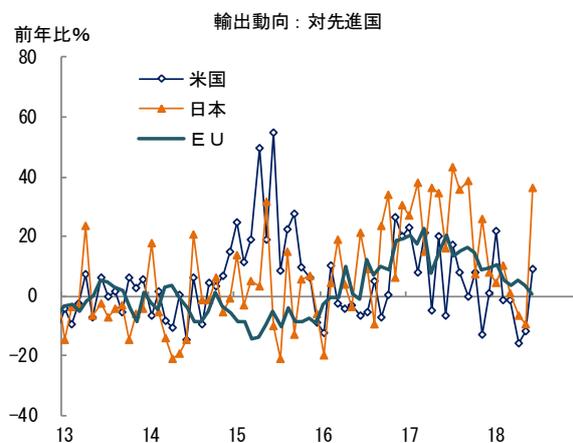
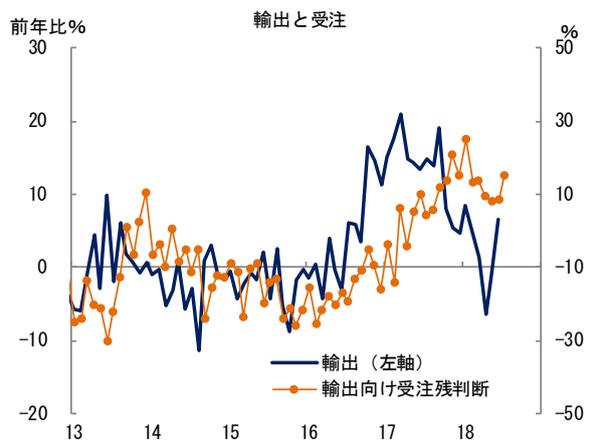
- 6月の輸出は前年比+5.7%、輸入は同+8.5%。月次データはぶれが大きいですが、Q2で見ても、輸出は同+4.2%、輸入は同+5.7%に拡大。共に、工業製品及び鉱物燃料等が伸びた
- 輸出相手先別では、米国向けは前年比+15.4%に加速。日本、中国、ロシア向けも同プラスに転じた
- 6月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、株式投資が3カ月ぶりに買い越しに転換。一方、債券投資は3カ月連続の売り越しとなり、売り越し金額も増加した



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 6月の輸出は前年比+6.5%と3カ月ぶりに反発。製品輸出が同プラスに転じたのに加え、燃料輸出が加速した
- 輸出相手国別では、6月は日本が前年比+36.1%と大きく反発。米国向けも5カ月ぶりに同プラスに転じた。一方、EU向けは同+0.6%と減速し、ロシア向けは再び前年割れに転じた
- 一方、6月の輸入は前年比-0.0%とわずかながら前年割れ。食品・飲料・たばこ輸入の伸びが減速し、製品輸入は前年割れが続く



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成